

東京国立 博物館 ニュース

第**697**号
展示と催し物
案内

2009

1011

月号

2-3 ◎ 御即位20年記念特別展「皇室の名宝—日本美の華」

3-4 ◎ 「皇室の名宝」関連特集陳列「帝室技芸員」「皇室と東京帝室博物館」
「東京国立博物館所蔵の正倉院織物」

5 ◎ 特別展予告 没後400年特別展「長谷川等伯」
文化庁海外展大英博物館帰国記念「国宝 土偶展」

6 ◎ 博物館で紅葉狩 秋の庭園開放と国宝 観楓図屏風公開

7-10 ◎ 平常展見どころ案内 2009年10月・11月
蘭亭十三跋／特集陳列「能面・能装束に見る能の表現—女性の風姿—」/
特集陳列「呉州赤絵」／特集陳列「アイヌの祈り」／特集陳列「飛鳥時代の古墳
—大阪府塚廻古墳と古代東アジア文化—」／特集陳列「伎楽面」/
応挙館で美術体験／国宝 扇面法華経冊子／重文 一休和尚像/
重美 立姿美人図／重文 毘沙門天立像／国宝 聖徳太子絵伝

11 ◎ 柳瀬荘アート・教育プロジェクト

12-13 ◎ みどりのライオン 教育普及事業

14 ◎ INFORMATION 15 ◎ TOPICS

16 ◎ 2009年10月・11月の展示・催し物



御即位20年記念特別展

皇室の名宝 — 日本美の華

1期：永徳・若冲から大観・松園まで 10月6日(火)～11月3日(火・祝)
2期：正倉院宝物と書・絵巻の名品 11月12日(木)～11月29日(日)

1期

永徳、若冲から大観、松園まで

1期は2章から構成されます。

1章「近世絵画の名品」では、桃山画壇の巨匠狩野永徳の唐獅子図屏風、伊藤若冲の動植綵絵全三十

天皇陛下御即位20年を記念し、皇室ゆかりの名宝がせいぞろい。
1期、2期にわけて、たっぷりご覧いただけます。



唐獅子図屏風(右隻) 狩野永徳筆 安土桃山時代・16世紀 宮内庁三の丸尚蔵館蔵 教科書でもおなじみの桃山の名品



動植綵絵のうち群鶏図 伊藤若冲筆 江戸時代・18世紀 宮内庁三の丸尚蔵館蔵(1期展示) 全三十幅の展示は東京では十数年ぶり



菊時絵螺鈿欄 川の邊一朝作 明治36年(1903) 宮内庁三の丸尚蔵館蔵(1期展示) 明治天皇のご下命品で、明治25年から36年まで11年を費やして制作された漆工芸の傑作



蘭陵王置物 海野勝珉作 宮内庁三の丸尚蔵館蔵 明治23年(1890) 色金を多用した明治金工の代表作。明治23年の内国勲業博覧会で妙技一等賞を受賞

幅が出品されます。

2章は「近代の宮殿装飾と帝室技芸員」と題して、明治時代の工芸にスポットをあてます。京都から東京に移られた明治天皇は江戸城西の丸に住まわれましたが、明治二十一年(一八八

八)西洋宮殿の装飾を取り入れた明治宮殿を造営されました。その宮殿に飾られた工芸品や明治二十三年に発布された美術工芸作家を顕彰する帝室技芸員制度で任命された作家たちによる明治の工芸の粋をご紹介します。

◆◆◆ 関連事業

記念講演会

①10月10日(土) 13時30分～15時

宮内庁三の丸尚蔵館学芸室

主任研究官 太田彩氏

「皇室コレクション、平成の歩み — 修理調査報告を中心として」

②11月15日(日) 13時30分～15時

宮内庁正倉院事務所長 杉本一樹氏

「正倉院の宝物 歴史の奥行き」

会場：平成館大講堂

定員：380名(事前申込制)

無料…ただし「皇室の名宝」展観覧券(半券でも可)が必要

申込方法…往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演日を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記して、左記までお申込下さい。

T1068611 東京都港区西麻布2-25-18 麻布パレスビル ユース・プランニングセンター「皇室の名宝」記念講演会係

1枚の往復はがきで1日分の講演会2名までの応募可。2人の場合はそれぞれの氏名を明記して下さい。

応募多数の場合は抽選となります。

締切：①9月16日(水) 必着

②10月23日(金) 必着

関連展示

1期：10月6日(火)～11月3日(火祝)

「大和絵屏風の伝統」

2期：11月12日(木)～11月29日(日)

「正倉院宝物の模造制作活動」

「伝統技術の継承と保護」

平成館企画展示室

平成館企画展示室では、特別展関連展示を行います。1期は、「大和絵屏風の伝統」と題して、悠紀・主基地方風俗歌屏風(平成度)をご紹介します。即位後に行われる大嘗祭では、稲を献上する悠紀(京都の東から



御即位20年記念特別展「皇室の名宝 —日本美の華」

1期:10月6日(火)~11月3日(火・祝) 2期:11月12日(木)~11月29日(日) 東京国立博物館 平成館

主催:東京国立博物館、宮内庁、NHK 特別協力:NHKプロモーション、読売新聞社、日本経済新聞社
 観覧料金:一般1,300円(1,100円/1,000円)、大学生1,000円(800円/700円)、高校生700円(500円/400円)
 ※()内は、前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。入館の際、年齢のわかるものをご提示下さい
 ※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください
 1、2期セット券2,200円、前売2,000円 ※セット券は1期専用観覧券と2期専用観覧券の2枚組です。セット券は一般のみです
 ※11月12日(木)は天皇陛下御即位20年を記念して入館無料です(来場者多数の場合、ご入館いただけないことがあります)
 お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600 ※作品は、1期と2期ですべて替わります

2期

正倉院宝物と書・絵巻の名品

2期は4章から構成されます。
 1章は「古の美」で正倉院宝物を中心に考古遺品や明治時代に法隆寺から皇室に献納された法隆寺献納宝物が出品されます。

正倉院宝物は聖武天皇のご遺愛品である螺鈿紫檀阮咸、机の敷物である紺地夾纈、絨、幾、褥はじめ漆胡瓶、天武天皇から聖武天皇まで歴代の天皇が使われ孝謙天皇によって大仏に献納された赤漆文櫛木厨子など総数二十二件が出品されます。

法隆寺献納宝物では、教科書にも載っている聖徳太子像が展示されます。

2章は「古筆と絵巻の競演」と題して、小野道風の玉泉帖、伝藤原行成の粘葉本和漢朗詠集など、三筆、三跡とよばれた能書家による書の名宝と蒙古襲来絵詞、春日権現験記絵など著名な絵巻が一室に会します。

3章は「中世から近世の宮廷美」で伏見天皇の伊勢物語絵巻をはじめ狩野探幽の源氏物語図屏風など中世から近世までの宸翰(天皇の書)や絵画など宮廷美の世界をご覧いただきます。

最後の4章「皇室に伝わる名刀」では、刀がお好きであった明治天皇が収集された名刀から南北朝時代にバサラ大名と呼ばれた佐々木道誉の愛刀

紺文縹絨幾
 奈良時代・8世紀 正倉院宝物
 文様の細部まで色鮮やかに染められた敷物



螺鈿紫檀阮咸

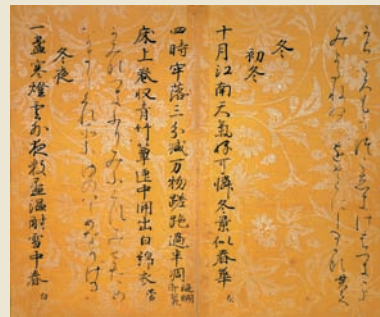
奈良時代・8世紀 正倉院宝物
 『国家珍宝帳』に記載があり、聖武天皇が愛用された可能性が高い楽器。背面には、精巧な螺鈿細工で長い瓔珞をくわえた一対の鸚鵡が表わされています



背面



蒙古襲来絵詞(部分) 鎌倉時代・13世紀 宮内庁三の丸尚蔵館蔵 鎌倉時代の2度にわたるモンゴル軍の襲来(元寇)を描いた傑作。教科書で見たことのある人も多いはず



粘葉本和漢朗詠集(部分) 伝藤原行成筆 平安時代・11世紀 宮内庁三の丸尚蔵館蔵 美しい唐紙に注目

であった道誉一文字はじめ、鶴丸国永、平野藤四郎、福岡一文字則宗や今上天皇のご生誕を祝して昭和八年に鳥津家から献上された長船光忠の太刀などが出品されます。(原田一敏)



悠紀・主基地方風俗歌屏風(平成度) 悠紀地方 東山魁夷筆 平成2年(1990)
 今上陛下のご即位の際に用いられた屏風



選ぶ。平成の場合は秋田県・主基京都の西から選ぶ。平成の場合は大分県の地方を占いで決めます。さらに儀式の際には、古くから悠紀・主基地方より献上された大和絵による和歌御屏風が用いられました。今回は、今上陛下御即位時の屏風をご紹介します。

2期は、皇室の文化財保護をテーマにした展示です。明治期から皇室が中心となって正倉院宝物の修理や模造制作が行われてきました。近年では、天皇陛下による日本画、皇后陛下による小石丸(日本産種の繭)を使用した正倉院裂の模造が注目されます。「皇室の名宝」展でも展示される「春日権現験記絵」(宮内庁三の丸尚蔵館所蔵)の修理の際には、その模造の裂が使用されました。修理に関する資料とともに、さらびやかな正倉院宝物の模造を御覧ください。(高橋裕次)

※関連展示は、平常展料金でご観覧いただけます。

「皇室の名宝——日本美の華」関連展示

本館や平成館1階では特別展「皇室の名宝——日本美の華」の開催にあわせて、皇室をテーマにした展示を行います。特別展とあわせてご覧くださいませ。

美術工芸家の保護と奨励のために

特集陳列「帝室技芸員」

9月8日(火)～12月6日(日) 本館19室

帝室技芸員は、帝室によって美術工芸作家の保護と制作の奨励を目的として設けられた顕彰制度です。帝室技芸員は終身制で、任命されると生涯勅任官の待遇を受け、その一方で下命による作品制作や帝室博物館(現在の東京国立博物館)総長の諮問に応じることが義務づけられていました。

明治二十一年(一八八八)、加納夏雄をはじめ十七名が帝室技芸員の前身である宮内省工芸員に選ばれ、宮内省技芸員と名称を変えた後、明治二十三年(一八九〇)に工芸と



月に雁図額 加納夏雄作 明治30年(1897)
雁を表わす片切彫りは夏雄の得意技です

美術を対象分野とする帝室技芸員制度が発足しました。以後、昭和十九年(一九四四)までに十三回、七十九名が帝室技芸員に任命されました。その分野は陶磁、七宝、漆工、染織、金工、刀剣、絵画、彫刻、建築、写真、篆刻、図案と多岐に渡っています。

当館の前身は帝室博物館であつたため、帝室技芸員の選定に大きく関わっており、帝室技芸員の作品も数多く収蔵しています。今回はその中から陶磁、金工、漆工の各分野の作品をご紹介します。(加島勝)



赤坂離宮下絵 花鳥図画帖 荒木寛敬・渡辺省亭筆 明治時代・19世紀
赤坂離宮花鳥之間を飾る七宝額の下絵。赤坂離宮(現・迎賓館)は、明治42年(1909)に完成した東宮御所。今上陛下が皇太子殿下であられた昭和20年(1945)11月から7ヶ月間だけ「東宮御在所」として使用されました

皇室と博物館の歴史を振り返る シリーズ「歴史を伝える」 特集陳列「皇室と東京帝室博物館」

10月14日(水)～12月6日(日) 本館16室

東京国立博物館は、明治十九年(一八八六)から昭和二十二年(一九四七)の間、宮内省(現在の宮内庁)所属の博物館でした。明治三十三年(一九〇〇)から昭和二十二年の間は東京帝室博物館と名乗っており、その名の通り、皇室(帝室)と深く関わっていました。今回は、当館の所蔵品のなかから皇室に由来する作品を集めました。

美術奨励を目的として優れた美術家を皇室が保護するために与えられた榮譽職・帝室技芸員。大正元年(一九一〇)に当時の帝室技芸員が一同となって帝室博物館に寄贈した作品や、法隆寺が皇室に献納

した「法隆寺献納宝物」の関係作品を展示します。

また、明治五年(一八七二)の正倉院開封以降、当館は皇室とともに正倉院宝物の管理や修理を行ってきました。『正倉院御物図集』や『御物上代染織文』を発行し、昭和十五年(一九四〇)には正倉院宝物を東京に運んで、大々的に「正倉院御物特別展観」を行っています。その際に上野公園にできた長蛇の列を描いた「くちなわ物語」から、当時の熱狂振りがうかがえます。

さらに、明治宮殿(戦前の皇居)、赤坂離宮、二条離宮など、皇室建築に関わる資料をご紹介します。(恵美千鶴子)

正倉院織物の綾に錦と織物文様の模織品 特集陳列「東京国立博物館所蔵の正倉院織物」

11月10日(火)～12月6日(日) 本館特別2室

当館には、明治のはじめ保存と昔の織物の研究のため、正倉院から頒布された染織品がガラス挟みの状態で一六五面、裂の点数では二六〇点余り収蔵されています。織物では文様を織りだした綾、羅、多彩な錦、染物では描絵、上代三纈と呼ばれる纈、葛纈、夾纈、そして刺繍といった奈良時代に用いられた染織品のほとんどの種類が含まれています。

今回はこれらのなかから織物を中心に展示いたします。光明皇后による東大寺への献納品目録である「国家珍宝帳」に記載されている樹皮色織

これまでほとんど展示されることのなかった作品ですが、「皇室の名宝」展で正倉院宝物が展示されるのに併せて企画しました。あわせてお楽しみください。(澤田むつ代)



緑地花文錦 奈良時代・8世紀
道場幡の幡足下方の垂端飾。精巧で丁寧に行われたボタンホール・ステッチに注目

※平常展料金でご観覧いただけます。

没後400年 特別展 長谷川等伯
2010年2月23日(火)～3月22日(月・休) 平成館

主催：東京国立博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション
協賛：日本写真印刷

観覧料金：一般1,500円(1,300円/1,200円)、
大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)
※()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料

※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600

巡回展：京都国立博物館 2010年4月10日(土)～5月9日(日)

没後400年 特別展

は せ がわ と う は く 長谷川等伯

織田信長や豊臣秀吉たち天下人が活躍した時代、天才絵師・長谷川等伯(一五三九～一六一〇)は画壇に二閃の光芒を放ちました。等伯没後四〇〇年という節目の年に、史上最大規模となる大回顧展を開催いたします。水墨画の最高峰「国宝 松林図屏風」、金碧画の至宝「国宝 楓図」(京都・智積院蔵)や人々を驚かせた高さ十メートルにおよぶ「重文 仏涅槃図」(京都・本法寺蔵)といった代表作をはじめ、新発見や初公開の品々が一堂に会します。当時の画壇のエリート狩野永徳に対して、等伯は能登地方の一絵師から出発しました。絵の天才であったと同時にセルフレポートの天才でもあった等伯は、やがて天下人・秀吉の注文を獲得するまでとなります。そんな等伯のバイタリティーは彼の作品からもあふれ出しています。本展では郷里の七尾に残した仏画から、上洛後「等伯」と名乗り、数々の名刹に揮毫した作品まで一挙に公開します。繊細な仏画、力強い筆線の水墨画、そして豪壮な金碧画など、彼の幅広い画業から、波乱にとんだ等伯の人生も作品を通してご覧いただけることでしょう。(松嶋雅人)



上：●松林図屏風(部分) 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀
筆と墨だけで光と風を見事にあらわした水墨画の最高傑作

左：◎仏涅槃図(部分) 長谷川等伯筆
安土桃山時代・慶長4年(1599) 京都・本法寺蔵
宮中でお披露目されたのち、本法寺に寄進された大涅槃図

中：●楓図(部分) 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀
京都・智積院蔵。等伯が絵筆で天下を取った証



The Power of Dogu

文化庁海外展 大英博物館帰国記念

国宝 土偶展

文化庁海外展 大英博物館帰国記念 国宝 土偶展

2009年12月15日(火)～2010年2月21日(日) 本館特別5室

主催：文化庁、東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社
協賛：日本写真印刷

観覧料金：一般800円(700円)、大学生600円(500円)、高校生400円(300円)
※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。中学生以下無料

※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600



左から：●合掌土偶 青森県風張1遺跡出土 縄文時代後期 八戸市蔵、●中空土偶 北海道著保内野遺跡出土 縄文時代後期 函館市教育委員会蔵、●縄文のビーナス 長野県棚畑遺跡出土 縄文時代中期 茅野市教育委員会蔵

イギリスの大英博物館で2009年9月11月に開催される文化庁海外展「THE POWER OF DOGU」の帰国を記念した特別展を開催します。日本の代表的な土偶とその関連資料、国宝三件、重要文化財二十三件を含む六十七件が一堂に会し、土偶の発生・盛行・衰退の過程と、その個性豊かな造形美に迫ります。伸びやかに両手を上げるもの、出産間近の女性の姿を表すもの、不思議な形の顔面をもつものなど、「祈りの造形」とも称され、縄文時代の人々の精神世界や信仰のあり方を具現化した芸術品として、世界的に高い評価を得ている土偶の世界をお楽しみください。



●観楓図屏風 狩野秀頼筆 室町～安土桃山時代・16世紀
本館2室「国宝室」10月6日～11月1日展示



秋草蒔絵角皿 安土桃山～江戸時代・17世紀
本館13室 9月15日～12月13日展示



萩 鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
本館10室
10月6日～11月1日展示

小袖 紅縮緬地幕紅葉模様 江戸時代・19世紀
本館10室 11月10日～2010年1月11日展示



色絵紅葉賀図茶碗
仁清 江戸時代・17世紀
山本富子氏・山本賢二氏寄贈
本館8室 11月8日まで展示



恒例、庭園開放の季節となりました。さわやかな秋の空のもと、庭園を散策してみませんか？ 本館北側の庭園では、さまざまな木々が美しく色づきます。黄色く燃え立つ応挙館前の銀杏の大木、鮮やかな影を池におとす紅葉など秋の東博の景色をゆっくりお楽しみください。

そして、この季節ならではの楽しみは、名品で楽しむ紅葉狩りです。

なんと！いつも見逃せないのは、本館2階国宝室に展示される国宝観楓図屏風です。

紅葉の名所、京都・高雄の紅葉狩りの様子が描かれています。群青の清滝川のほとりでお弁当を広げ、お茶を楽しみ、踊りに興じる人々。空には雁の群れが飛び、遠く雲間には神護寺の伽藍や、すでに雪をかぶった愛宕神社も望まれます。美しく色づいた紅葉はもちろん、さまざまな秋草の風情もお楽しみください。

本館では、ほかにも秋草や紅葉などをテーマにしたさまざまな作品が展示されています。

(小林牧)

博物館で紅葉狩

秋の庭園開放と 国宝観楓図屏風公開



10月20日(火)～11月29日(日)
※庭園の入り口は本館と東洋館(閉館中)の間、レストラン・コールの脇になります
※雨天により中止となる場合があります

秋の庭園開放

小袖 白縮子地竹垣萩文字
模様(部分)
江戸時代・18世紀
本館10室
9月15日～11月8日展示



これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

異民族の統治下で守った伝統の書

蘭亭十三跋 趙孟頫筆

特集陳列「中国書画精華」より

9月15日(火)～11月8日(日) 本館特別2室

趙孟頫(一二五四～一三二二)は、宋の皇族の末裔として生まれましたが、二十六歳の時に、宋は蒙古民族の元によって滅ぼされてしまいます。元の世祖フビライは、元に反感を持つ宋の人々を懐柔するために、宋の遺民の中から優秀な文化人を抜擢させると、趙孟頫は二十余名の候補者の中の第一に推薦されました。世祖は趙孟頫の豊かな才能を高く評価し、漢民族が冷遇された元朝にあつて、趙孟頫は異例の厚遇を受け、高官の一人としてその生涯を送りました。

趙孟頫は母国を滅ぼした元朝に仕えた無節操な人物として、周囲から白眼視されることがありました。しかし彼は書画において、徹底した復古主義を貫き、素晴らしい名作の数々を遺しています。その姿はあたかも、異民族の統治下でありながら、漢民族が創り上げた伝統を誇示するかのような一途さを感じさせます。

至大三年(一三二〇)、趙孟頫は詔を奉じ

て、呉興(浙江)から舟で大都(北京)へ向う途中、見送りに来た独孤淳朋から、宋拓の定武蘭亭序を譲り受けます。ゆくりなくも蘭亭序をゆつくりと愛玩する機会に恵まれた趙孟頫は、一月余りの舟旅で、日をおつて蘭亭序に感想(跋文)を書き付け、蘭亭序の全文を臨書しました。跋文は全部で十三種に及ぶことから、後世これを蘭亭十三跋と尊称しています。蘭亭序の拓本の中でも特に著名な定武本の名品に書き込んだ十三跋は、その書が精妙であるばかりか、趙孟頫の書に対する考えを知る上でも、極めて貴重な内容となっています。

清時代の乾隆年間(一七三六～九五)に譚組綬の所蔵となりましたが、その没後、火災に遭い一部が焼けてしまいました。譚組綬の門下、英和が燃え残りを集め、当時の学界の大御所である翁方綱に見せると、翁方綱は拓本の収集家・李宗瀚に命じて、現状のように装丁させました。(富田淳)



蘭亭十三跋 趙孟頫筆 元時代・至大3年(1310) 高島菊次郎氏寄贈 宋拓の定武本蘭亭序(右)と、趙孟頫が臨書をした部分(左)

注目の
特集

本館9室 能と歌舞伎

能は女性をいかに表現してきたか
特集陳列

「能面・能装束に見る能の表現
— 女性の風姿 —」

9月15日(火)～11月8日(日)

◎能面 増女 伝増阿弥作 江戸時代・18世紀 奈良・金春座伝来
玲瓏な表情を湛える「増女」は天女の靈性を表わす

唐織 紅緑段御簾色紙短冊萩模様 江戸時代・18世紀
王朝風の模様はみやびな貴族女性をほうふつとさせる



能は芝居の一つに数えられますが、狂言のような生活感はなく、歌舞伎のような劇的な展開も見られません。大げさな身振りや表現を必要としない能の演技では、能面のもつ表現力が重視されています。中でも

女面は、小面を基本形とし年齢や女性の性格などを繊細に描き分けた面に分化されています。男性である能楽師には表現しきれない表情を追求してきた結果といえます。女性役の特徴とも言える唐織や長絹の色と模様、着付け方は役柄の性格を表現する上で重要な演出の一つであり、どのようなデザインも能装束を選びかたは、役を演じる能楽師にゆだねられています。能における女性の風姿に注目し、面と装束が生み出す表現に今一步深く分け入ってみましょう。

(小山弓弦葉)

本館14室 工芸

青や緑ののびやかな文様
特集陳列

「呉州赤絵」

10月20日(火)～12月20日(日)

明時代の終わりごろ、灰色がかった粗い素地に失透性の釉薬を厚く施し、赤や緑の上絵具でのびやかな文様を描いた磁器が量産され、東南アジアや日本に向けてさかんに輸出されました。南京と呼ばれた景德鎮窯の磁器に対し、中国南部で焼かれた磁器という意味で「呉州」と呼ばれるようになり、一九九〇年代に入って福建省南部の漳州近郊で焼かれていたことが明らかになりました。

本館15室 民族資料 アイヌ

イオマンテ(熊送り)を中心に

特集陳列

「アイヌの祈り」

9月29日(火)
～2010年1月3日(日)

アイヌの家には、たいてい捕獲した仔熊などを育てる檻があります。連れて帰った熊の幼獣はコタン(村)を訪ねてくれた神として大切に育てられ、イオマンテ(熊送り)によって感謝の言葉と贈物をもって神の国へ帰すのです。そうすることで神が再び人間への恵みとなる現世の身体をまとい戻ってくると信じら

五彩コーラン聖詞大皿 漳州窯 明時代・17世紀
個人蔵
イスラム教の經典である『コーラン』の一節が記されており、国際色豊かな呉州赤絵の性格があらわられています



た。燃えるような赤と生気溢れる筆づかいは、景德鎮の磁器とは異なる独特の魅力があります。同時期に漳州窯で焼かれた呉州青絵や呉州染付、餅花手もあわせてご覧ください。また、香合や菓子鉢と

して茶席で珍重された呉州赤絵や、江戸時代後期に各地で焼かれた呉州赤絵写しを展示し、日本文化との深いかわりを検証いたします。(今井敦)

れています。

この花矢は、鏃部分を黒く塗り、きれいな彫刻を施して文様をつけた木製のもので、イオマンテの時に用います。同心円文・渦巻き(モレウ)文・有棘状(アイウシ)文などが美しい。鏃の先端には、現在はそのほとんどが失われているものの削り懸け(木を薄くそいでひげ状に残す装飾)がありました。花矢は送られる仔熊のお土産で、直接に傷つけるわけではなく、美しいものに満ちみちている人間の国へ再訪を乞うための矢なのです。(日高慎)



渦巻き(モレウ)文・有棘状(アイウシ)文などの彫刻が美しい



花矢 北海道アイヌ 19世紀

激動の時代を

勝ち抜いた豪族の墓

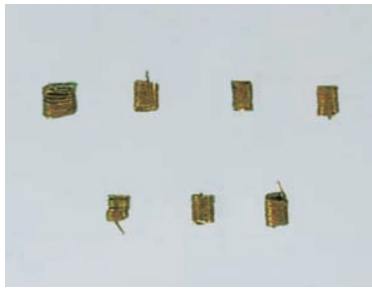
特集陳列

「飛鳥時代の古墳

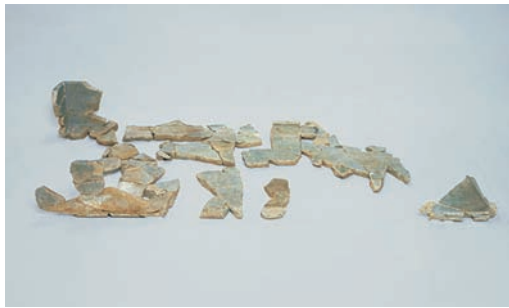
大阪府塚廻古墳と

古代東アジア文化」

9月8日(火)～11月29日(日)



螺旋状金線 古墳(飛鳥)時代・7世紀 大阪府塚廻古墳出土 大阪・平石塚廻古墳調査会寄贈 極細の針金を巻いて作った繊細な金線。副葬品のひとつ



緑釉棺台残片 古墳(飛鳥)時代・7世紀 大阪府塚廻古墳出土 大阪・平石塚廻古墳調査会寄贈 漆塗りの籠棺をのせた台の一部。緑釉をかけた陶器でできています

塚廻古墳は、河内飛鳥とよばれる南河内地方の終末期大型方墳です。墳丘の版築工法、横口式石槨の漆喰、前室床面の埴状榛原石や緑釉棺台、乾漆技法の夾紵棺・漆塗籠棺には寺院建築・仏像などの影響が強く見られます。副葬品の刺繍用金糸・銀糸、金象嵌大刀・鉛ガラス製玉類なども終末期古墳の典型例です。六世紀末以降の古代東アジアは激動の時代です。中国の統一国家・隋の勢力が朝鮮半島におよび、その後、唐が六六〇年代に朝鮮半島の百済・高句麗を滅ぼし、六六三年には唐・新羅連合軍が百済復興を図る倭を破りました。以後、倭は一層先端技術の摂取に努め、国際的緊張関係の中で律令国家の建設を進めました。

塚廻古墳がある平石古墳群の北方約二キロには、六～七世紀の天皇陵古墳を含む王陵の谷ともよばれる磯長谷古墳群があり、塚廻古墳も激動の時代を勝ち抜いた古代有力豪族の墳墓に違いありません。今回は、この塚廻古墳の出土品を中心に紹介します。(古谷毅)

法隆寺宝物館第3室

幻の歌舞劇のお面

特集陳列

「伎楽面」

10月6日(火)～11月1日(日)

伎楽面は伎楽に使った仮面です。伎楽は、飛鳥時代から奈良時代に主に寺院の法会で演じられた歌舞劇です。伎楽に「クレガク」あるいは「クレノウタマイ」とルビが付けられていること、推古天皇二十年(六一二)に百済の人が呉に学んで伎楽を伝え

たことが『日本書紀』に記されていることから、中国の揚子江の南、呉と呼ばれた地方に関係があるようです。しかし、伎楽は平安時代頃には廃れてしまったため、どのような内容のものかはつきりしません。面は、後頭部の上の方まで作ってすっぽりかぶる大きなものです。法隆寺献納宝物中の面の材質は三種あり、クスノキ材製十九面、キリ材製九面、乾漆製三



●興公 飛鳥時代・7世紀 目や口の形に飛鳥時代の特色が表れています

面。クスノキ材製の面が飛鳥時代七世紀、その他は八世紀の作です。中でもクスノキ材製の面は、飛鳥時代の木彫の稀少な作例として重要な作品です。(浅見龍介)

応挙館で美術体験

当館北側の庭園にある応挙館の内部には、床の間や襖に円山応挙の絵が描かれています。この応挙館で、展示室とは違った鑑賞体験をしてみませんか?

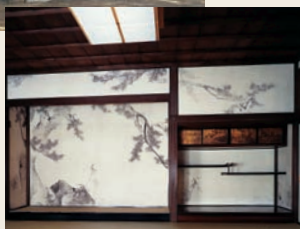
一の間では円山応挙による江戸時代の絵画を、二の間では鯨津朝子氏による現代美術作品をご覧いただけます。内部公開期間中には、実際に応挙館の中に入り、江戸と現代の作品の空間を体感できます(下記参照)。鯨津氏の作品制作にあたっては、その制作風景も公開します。庭園散策の途中にお立ち寄りください。

なお、応挙館一の間は床貼付絵および襖絵は、作品保存の観点から、高精細画像による複製となっております。本館7室では、応挙による襖絵の一部を公開します(11月17日(火)～2010年1月11日(月)祝)。もともと襖絵のあった茶室の様子を観た後は、是非展示室でほんものの作品もご鑑賞ください。(鬼頭智美)



●応挙館 尾張国(現在の愛知県大治町)の天台宗寺院、明眼院の書院として寛保2年(1742)に建てられたもの

●応挙館一の間 床の間と襖に残されている絵は、天明4年(1784)、円山応挙が明眼院に眼病で滞留していた際に揮毫したものであると伝えられています。現在は作品保護の観点から複製を設置しています



会場・庭園内 応挙館
11月10日(火)～16日(月)
現代美術作品公開制作 10時～16時
11月17日(火)～26日(水)
●応挙館内部公開 10時～16時
◆作品空間を体感しよう!
●応挙館の中に入って江戸と現代の美術を体感してください。
11月18日(水)、19日(木)、22日(日)、25日(水)、26日(木)
各日11時、14時の2回、各回10名(先着順)
●受付:本館エントランスホール
*会期中、当館研究員および鯨津朝子氏によるトークイベントも企画しています。詳細は当館Web上でお知らせします。
*天候不順により庭園公開が中止の場合は中止となります。



気になる
この部屋
この作品

本館3室 宮廷の美術

人々の暮らしを生き活きと写す下絵が魅力

国宝 扇面法華経冊子

9月8日(火)～10月18日(日)

平安時代の貴族や庶民の生き活きとした日常の姿を下絵に描き、その上に法華経を書写した扇型の冊子本で、大阪・四天王寺伝来の十帖のうちの一帖です。

写経など美麗に趣向を凝らすことが仏への供養になると考えられた平安時代後半、他方ではまた、宮廷女

房たちの間で趣向を凝らした扇絵を作ることも盛んでした。それらの志向が交錯した所、高位の宮廷女性による企画制作がなされたと推定されるこの作品にも、平安貴族の優美な美意識が存分に発揮されています。(沖松健次郎)



●扇面法華経冊子 平安時代・12世紀
水辺の楽しげな雰囲気伝わってきます

本館11室 彫刻

瞳は水晶の輝き

重文 毘沙門天立像

10月14日(水)～2010年1月17日(日)



●毘沙門天立像(部分) 平安時代・応保2年(1162) 川端龍子氏寄贈
キラリと光る目と繊細な文様の衣に注目

応保二年(一一六二)の年記のある印仏が像内に納入されていて、およその像の製作時期を知ることが出来ます。目に水晶を嵌める玉眼と呼ばれる、鎌倉時代に流行した技法を採用していますが、その初期の像の一つです。全身には繊細な彩色が残っています。このように彫刻史上たいへんに貴重な像ですが、以前は見られる機会のない謎の像でした。その像が、平成14年に画家の川端龍子氏の遺族から当館に寄贈され、それ以降毎年三ヶ月程度展示しています。今年も背面までじっくりとご覧ください。(丸山士郎)

本館3室 禅と水墨画

一休さんはどんな顔？

重文 一休和尚像

10月20日(火)～11月29日(日)



◎一休和尚像(部分) 没倫紹等賛
室町時代・15世紀 岡崎正也氏寄贈
絵の上部には、一休が作った賛を弟子の没倫紹等が書き写しています

願知話で知られる室町時代の禅僧、一休宗純(二二九四～一四八二)の肖像画です。こちらを見つめる視線や、白髪まじりのぼさぼさの髪、伸び放題の髭。顔は痩せて骨ばり、額には深い皺が刻まれています。この絵は多くの一休像の中でも、とくに生々しい印象を感じさせる、たぐいまれな作品ですが、顔と肩までしか描かれていません。またサイズも他の一休像よりかなり小さく、三つに折っていたような折り跡も残っています。そのため完成作に至る過程で作られた下絵とみられます。(救仁郷秀明)

本館10室 浮世絵と衣装

歌麿美人の気品

重美 立姿美人図

喜多川歌麿筆

11月3日(火・祝)～11月29日(日)



◎立姿美人図(部分) 喜多川歌麿筆
江戸時代・18世紀 個人蔵
歌麿肉筆画の代表作とされる気品ある一幅

埃よけの白い揚烏帽子、軽く膝を折って支えられた傘、白い足袋と履物。これから出掛けようとする身支度で、麻の葉模様のごきぎきをおしながら振り返る女性。手を空けるために銜えられた扇子が印象深い。背景が描かれていないものの、その場の

法隆寺宝物館第6室 絵画

太子の生涯を絵とくとき

国宝 聖徳太子絵伝

10月6日(火)～11月1日(日)



●聖徳太子絵伝(部分) 秦致貞筆 平安時代・延久元年(一〇六九) 太子が三十五歳のとき、勝鬘経(しょうまんぎょう)を講じると天から蓮華が降ってきたこと(中央)
*TNM&TOPPANミュージアムシアターにて関連作品を上演します。
(10月2日(金)～11月1日(日))
ろうと考えられてきました。しかし、近年の当館の詳細な調査で、その綾地にも何種類かありそうなのがわかるなど、謎は深まりつつも少しずつ調査が前進しています。(小林達朗)



や な せ そ う
柳 瀬 荘
アート・教育
プロジェクト

埼玉県所沢市の「柳瀬荘」は、実業家、また茶人としても名高い松永安左エ門氏（耳庵）の旧別荘で、昭和二十三年（一九四八）に当館にご寄贈いただきました。五千坪を超える敷地には、武蔵野の面影を今にとどめる雑木林のなか、江戸時代の民家「黄林閣」（重要文化財）、書院造りの「斜月亭」、茶室の「久木庵」があります。この柳瀬荘を舞台に、日本大学芸術学部との共催で、美術鑑賞と教育普及のプログラムを実施します。

絵画や版画、彫刻の作品展では、古民家と現代アートのコラボレーションをお楽しみください。

ワークショップでは、水彩絵の具で民家を描いたり、

庭の竹を切り出して、参加者全員で家をつくったりと、多彩なプログラムを用意しました。大人の方も参加できる「青写真制作」や、公開授業の「連句創作」もあります。

コンサートは、オペラ歌手として名高い池田直樹教授他、学生達による独唱、合唱を、黄林閣の庭でお聞かせいただけます。

通常は毎週木曜日、外観のみ無料で公開しています（10時～16時、ただし10月～3月は15時まで）、期間中は特別に建物の内部も見学することができますので、ぜひこの機会に足を運んでみてください。



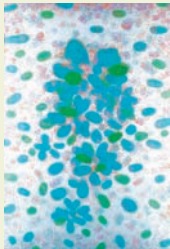
ワークショップ「竹の家」を共同で作る

柳瀬荘「黄林閣」

東武東上線志木駅から跡見女子大行きバスで15分。「中野」下車徒歩5分
西武新宿線・池袋線所沢駅から志木駅南口行きバスで25分「西側」下車徒歩3分
通常は毎週木曜日10:00～15:00公開
現地問い合わせTEL: 04-2944-2009

**日本大学芸術学部美術学科絵画コース
教職員作品展**

日本家屋の空間に絵画、版画、ドローイングの平面及びオブジェの作品を展示し、古民家と現代アートのコラボレーションを試みます。



岩野弘之「景」

日時：10月1日（木）～18日（日）
（木～日のみ開催）
10:00～16:30

出品者：有地好登、岩野弘之、蛸子真理央、大庭英治、笹井裕子、福島唯史、福田篤、宮沢真徳

**日本大学芸術学部美術学科彫刻コース
教職員作品展**

古民家とその庭、雑木林、竹林などに彫刻作品を展示します。

日時：11月5日（木）～21日（土）（木～日のみ開催）
10:00～16:30

出品者：大槻孝之、木下宏、建島朔弥、鞍掛純一、江口遇、北澤一伯、佐藤晃、佐藤久仁子、鷹尾俊一、小倉洋一、太田正恒、溝口達也、松本隆、石川奈緒美、渡邊敏文、小池一馬、木原智代、澤口智一、向山武志

「自然と柳瀬荘」上映

柳瀬荘と自然の移り変わりを多方面から撮影した、「柳瀬荘」の紹介フィルム（DVD）を上映します。

日時：11月5日（木）～21日（土）（木～日のみ開催）
10:00～16:30

撮影・制作：宮澤誠一教授（日本大学芸術学部映画学科）

ワークショップ「竹の家」を共同で作る。

工作キットの組み立てでは味わえない「ものと空間づくり」を体験し、チームワーク、協調の重要性を学びます。

日時：10月4日（日）10:00～16:30 *雨天中止
指導：桑原淳司教授 他 大学院生
対象：小学生（保護者同伴のこと）
定員：20名（先着順）
申込先：日本大学芸術学部デザイン学科
FAX: 04-2993-2245

ワークショップ「青写真制作」

サノタイプ（青写真）におけるフォトグラム（影写真）制作。

日時：10月11日（日）10:00～15:00 *雨天中止
指導：鈴木孝史教授
対象：小学生から一般まで
（小学3年生以下は保護者同伴のこと）
定員：20名（先着順）
申込先：日本大学芸術学部写真学科
FAX: 03-5995-8219

ワークショップ「民家を描こう」

重要文化財の古民家を水彩絵の具で描く。

日時：10月18日（日）10:00～14:00 *雨天中止
指導：岩野弘之教授、大庭英治准教授
対象：小学生（保護者同伴のこと）
定員：20名（先着順）
申込先：日本大学芸術学部美術学科
FAX: 04-2993-2208

ワークショップ「連句創作」

「連句」について、公開授業を通して日本文学の俳諧体について学び、実習体験します。

日時：11月4日（水）13:30～16:00
指導：夫馬基彦教授
対象：一般
定員：5～10名（先着順）
申込先：日本大学芸術学部文芸学科
FAX: 04-2993-2277

コンサート

池田直樹教授 他
音楽学科学学生による、独唱、合唱。

日時：10月14日（水）
16:00～16:45
曲目：キャッツ、レ・ミゼラブル、
オペラ座の怪人より
定員：50名（先着順）
申込先：日本大学芸術学部
音楽学科
FAX: 03-5995-8249



池田直樹
「ドンキョット」

※入場料・参加費はすべて無料です。

※ワークショップ、コンサートは事前申込制です。「講座名、住所、氏名、学年（年齢）、電話番号、必要に応じて保護者名」を記入してファックスでお申込ください。

※総合問い合わせ先 日本大学芸術学部美術学科 TEL: 04-2993-2203

ファミリーワークショップ

「料紙づくりと散らし書きカレンダーに挑戦！」

展示室で、きれいな紙に筆で書かれたお経や和歌を鑑賞した後、来年のカレンダーを作ります。作品と同じような模様の料紙を摺り、その上に散らし書き風に来年の目標を書いてください。

日時：① 2009年12月19日(土) 10:00～12:30
② 2009年12月20日(日) 10:00～12:30

会場：平成館小講堂 対象：小学校5年生以上の児童・生徒とご家族
定員：各回10組(応募者多数の場合抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要です。高校生以下と満18歳未満および70歳以上の方は入館無料)

申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで①参加者全員の氏名(ふりがな)・お子さんの学年②郵便番号・住所③電話番号(FAX番号)④参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。

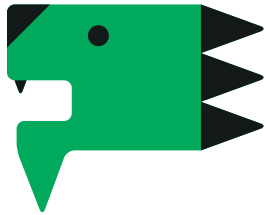
申し込み先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「料紙カレンダー」係

FAX: 03-3822-3010

電子メール: edu@tnm.jp(件名に「〇月〇日(希望日)カレンダー」とご記入ください)

締切：①②ともに、12月4日(金)必着

教育普及
事業!!



みどりのライオン
みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

建築ツアー

第2回「前野まさるとゆく“東京国立博物館建物探訪”」

前野まさる東京芸術大学名誉教授の解説で、東京国立博物館内の名建築を見学します。台東区教育員会との連携企画です。

日時：11月7日(土) 10:00～11:30 ※内容は第1回目と同じです。

会場：東京国立博物館本館、表慶館ほか 定員：50名

講師：前野まさる氏(東京芸術大学名誉教授)

参加料：無料(ただし東京国立博物館の入館料が必要です)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に催し名と参加者各人の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・年齢・人数を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記し下記へお申し込みください。

〒111-8621 東京都台東区西浅草3-25-16 台東区生涯学習センター生涯学習課文化財担当「建物探訪」係

締切：10月22日(木)必着

※応募者多数の場合は抽選となります。※1枚のはがきで2名まで申込可。

お問い合わせ：TEL 03-5246-5852(台東区生涯学習センター生涯学習課文化財担当)

PART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

留学生・日本語教師・通訳の方のための 「美術作品を通して知るにつぼん」

留学生の日に関連した講演会です。

日時：10月3日(土) 13:30～15:00 会場：平成館大講堂

定員：380名(先着順) 聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)

講師：小林牧(当館広報室長)

「皇室と東京帝室博物館」

特集陳列「皇室と東京帝室博物館」(2009年10月14日(水)～12月6日(日)本館16室)に関連した講演会です。

日時：11月21日(土) 13:30～15:00 会場：平成館大講堂

定員：380名(先着順) 聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)

講師：高橋裕次(当館博物館情報課長)

列品解説

東京国立博物館の研究者による
展示解説です。

「観楓図屏風」(作品写真は6ページ)

10月6日(火) 14:00～14:30 本館2室 講師：遠藤楽子(国際交流室研究員)

「中国考古 玉器鑑賞入門」

10月9日(金) 18:30～19:00 本館20室 講師：川村佳男(東洋室研究員)

「狭衣物語絵巻断簡をみる」

10月20日(火) 14:00～14:30 本館3室 講師：瀬谷愛(平常展調整室研究員)

「横山大観入門」

10月27日(火) 14:00～14:30 本館20室 講師：植田彩芳子(特別展室研究員)

「平安時代の装飾経」

11月10日(火) 14:00～14:30 本館20室 講師：鳥谷弘幸(学芸研究部長)

「東京国立博物館所蔵の正倉院織物」

11月17日(火) 14:00～14:30 本館特別2室 講師：澤田むつ代(特任研究員)

「呉州赤絵」(作品写真は8ページ)

11月24日(火) 14:00～14:30 本館14室 講師：今井敦(東洋室長)



狭衣物語絵巻



上から：
本館(日本ギャラリー)、
表慶館 エントランス
ホールの天井ドーム、
表慶館

PART

2

五感を使った美術体験 ワークショップ

※当落に関らず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の連絡がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話でお問い合わせください。

大人向けワークショップ

「貝合せを作ってみよう」

本館8室「暮らしの調度」で貝桶と貝合せが展示されます。これにあわせて、毎年恒例の貝合せのワークショップを開催します。大名家のお嫁入り道具の第一とされた貝合せ。作品をじっくり見て、歴史を学んだあとは、さまざまな展示作品に見られる伝統的な模様をヒントに自分だけのオリジナル貝合せを作りましょう。

日時：① 2009年11月20日(金) 17:30～20:00
② 2009年11月21日(土) 15:30～18:00

会場：平成館小講堂 対象：一般(高校生以上)

定員：各回20名(応募者多数の場合抽選。一度の申し込みで2名までお申し込みいただけます)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要です。高校生以下と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで ①参加者全員の氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号(FAX番号) ④参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育普及室「一般貝合せ」係

FAX: 03-3822-3010 電子メール: edu@tnm.jp

(件名に「〇月〇日(希望日)一般貝合せ」とご記入ください)

締切：①②ともに、11月6日(金) 必着



ファミリーワークショップ

「貝合せを作って貝合せに挑戦！」

毎年大好評の貝合せのワークショップを開催します。江戸時代に作られた、本物の貝合せを見たあとに、博物館のさまざまな展示作品をスケッチして、自分だけのオリジナル貝合せを作りましょう。できあがったら、自分たちで作った貝合せを使って、家族対抗貝合せ大会を行います。

日時：① 2009年11月22日(日) 13:00～17:00
② 2009年11月23日(月・祝) 13:00～17:00

会場：平成館小講堂 対象：小学生およびそのご家族

定員：各回10組(応募者多数の場合抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要です。高校生以下と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで ①参加者全員の氏名(ふりがな)・お子さんの学年 ②郵便番号・住所 ③電話番号(FAX番号) ④参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「ファミリー貝合せ」係

FAX: 03-3822-3010

電子メール: edu@tnm.jp(件名に「〇月〇日(希望日)ファミリー貝合せ」とご記入ください)

締切：①②ともに、11月6日(金) 必着



大人向けワークショップ

「唐紙もようのオリジナル料紙と継紙カード作り」

毎年恒例の、装飾料紙に関連したワークショップを行います。平安時代中期から鎌倉時代中期にかけて、宮廷貴族が和歌などを書写するために用いた紙には、金銀や雲母を用いた優美な装飾が施されていました。研究員とともに展示作品を鑑賞したのち、唐紙模様のオリジナル料紙を切り、クリスマスやお正月にふさわしい継ぎ紙のカードを作ってみてください。

日時：① 2009年12月19日(土) 14:30～16:30
② 2009年12月20日(日) 14:30～16:30

会場：平成館小講堂 対象：一般(高校生以上)

定員：20名(応募者多数の場合は抽選。一度の申し込みで2名までお申し込みいただけます)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要です)

申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで ①参加者全員の氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号(FAX番号) ④参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。

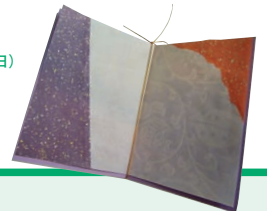
申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「料紙カード」係

FAX: 03-3822-3010

電子メール: edu@tnm.jp(件名に「〇月〇日(希望日)料紙カード」とご記入ください)

料紙カード」とご記入ください)

締切：①②ともに、12月4日(金) 必着



PART

3

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

新ガイドツアーのお知らせ

「表慶館アジアギャラリーガイド」

東京国立博物館は、中国、インド、東南アジアなど東洋の様々な国や地域で作られた作品を収蔵しています。東洋館休館期間中、それらの作品は、おもに表慶館で展示されています。分野・地域・時代も多岐にわたる東洋の作品の魅力をご紹介します。ボランティアによるガイドツアーを期間限定で実施します。表慶館アジアギャラリーの展示をどうぞお楽しみください。

11月12日(木・天皇陛下ご即位20年記念無料観覧日)・11月15日(日)～2010年1月31日(日)の金曜日、日曜日(ただし、12月27日、1月1日、1月3日を除く)
13:30～14:15(約45分)

集合場所：表慶館アジアギャラリー エントランス

子どもたちのアートスタジオ

「根付作り」

本館10室にある根付を見学した後、粘土を加工してオリジナル根付を制作します。

日時：11月1日(日) 13:30～15:30

会場：平成館小講堂

対象：小学校3年生から高校生

※保護者の方の見学も可能です(ただし、平常展入館料が必要です)。

定員：10名程度

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、日程「根付作り11/1」と郵便番号・住所・参加される方のお名前(ふりがな)・学年・電話番号・保護者をご一緒の場合はその人数、「返信用表面」に、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込ください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館学芸企画部博物館教育課ボランティア室

締切：10月19日(月) 必着※締切の後、参加券をお送りします。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

INFORMATION

イベント開催のお知らせ

◆藤原真理チェロコンサート

＃響きあう和と洋の音色 チェロと三味線の世界

日時 12月6日(日) 開場14:30 開演15:00

会場 平成館ラウンジ

出演 藤原真理(チェロ)、倉戸テル(ピアノ)

常磐津都史(三味線)、常磐津文字東久(三味線)

曲目 〈三味線〉「常磐津情景描写集」より

〈チェロ〉チャイコフスキー：メロディー Op.42(懐かしい土地の思い出より)／ショパン：チェロ・ソナタ Op.65／フォーレ：ノクターン／フォーレ：月の光 Op.46-2／シューマン：3つのロマンス Op.94

料金 一般 5,000円(全席自由)

友の会・キャンパスメンバーズ割引 4,000円

※当日は、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。

主催 東京国立博物館、サロン・ド・ソネット

◆ジェラルド・プーレ ヴァイオリン コンサート

＃巨匠ジェラルド・プーレが奏でる 美しい音色の輝き

日時 12月12日(土) 開場13:30 開演14:00

会場 平成館ラウンジ

出演 ジェラルド・プーレ(ヴァイオリン)、川島余里(ピアノ)

曲目 モーツァルト：ヴァイオリンとピアノの為のソナタ 変ホ長調 K.481／クライスラー：①ジプシー奇想曲／②ブラームス＝クライスラー編 ハンガリー舞曲より／③ドヴォルザーク＝クライスラー編 スラヴ舞曲より／チャイコフスキー：憂鬱なセレナーデ／ベートーヴェン：ヴァイオリンとピアノの為のソナタ 第10番 ト長調

料金 一般 3,500円(全席自由)

友の会・キャンパスメンバーズ割引 2,500円

※当日は、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。

主催 東京国立博物館

企画協力 東京芸術大学演奏芸術センター客員教授 瀧井敬子

チケットのお求め方法

●当館正門観覧券売場でのチケット販売

開館日の9:30～閉館30分前まで

●電話予約販売

申込先 東京国立博物館イベント担当 TEL 03-3821-9270

受付時間 月曜日～金曜日の9:30～17:00(祝休日は除く)

引換 公演当日、9:30～当館正門観覧券売場にて現金引換にてお渡します。

お問い合わせ 東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL03-3821-9270

月曜日～金曜日の9:30～17:00(祝休日は除く)

※各イベント詳細は、当館ホームページでご確認ください。

※お車でのご来館はご遠慮ください。

◆東京国立博物館賛助会員 募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円

個人 5万円

主な特典

●特別展の内覧会にご招待

●東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

*お問い合わせ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
TEL 03-3822-1111(代)

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社毎日新聞社 様
株式会社大林組東京本社 様
株式会社ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリジャパン株式会社 様
東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様

維持会員

東京電力株式会社 様
朝日新聞 様
株式会社東京放送 様
早乙女節子 様
株式会社三冷社 様
宇津野和俊 様
伊藤信彦 様
井上萬里子 様
株式会社東京美術 様
藪内匡人 様
服部禮次郎 様
株式会社鶴屋吉信 様
若沢重美 様
高田朝子 様
齋藤京子 様
齋藤邦裕 様
株式会社安井建築設計事務所 様
株式会社ナガホリ 様

和田喜美子 様
佐々木芳絵 様
藤原紀男 様
松本建設株式会社 様
関谷徳衛 様
高橋守 様
小澤桂一 様
池田孝一 様
株式会社スタイルカフェドットネット 様
長谷川英樹 様
木村剛 様
観世あすか 様
ココファンチャー株式会社 様
星埜尚 様
久保順子 様
渡辺章 様
稲垣哲行 様
帖佐誠 様
株式会社古美術数本 様
飯岡雄一 様
峯村協成 様
牧美也子 様
高瀬正樹 様
坂井俊彦 様
寺浦信之 様
塚越香 様
高木美華子 様
日本ハーデス株式会社 様
山岡ウウ子 様
岡屋光夫 様
根田穂美子 様
松本澄子 様
鷲塚泰光 様
是常博 様

上野孝一 様
北山喜立 様
謙慎書道会 様
社団法人全国学校栄養士協議会 様
池谷正夫 様
山田泰子 様
近代書道研究所 様
田村久雄 様
日本畜産興業株式会社 様
高橋徹 様
柴田陸子 様
絹村安代 様
高橋良守 様
岡田博子 様
白井生三 様
津久井秀郎 様
川澄祐勝 様
神通豊 様
永久幸範 様
五十嵐良和 様
石川公子 様
池田慶子 様
株式会社東京書芸館 様
青山千代 様
永田実香 様
西岡康宏 様
友景紀子 様
東野治之 様
辻泰二 様
高木聖鶴 様
竹下佳宏 様
松原聡 様
シチズンホールディングス株式会社 様
野澤智子 様
有賀浩治 様

吉田幸弘 様
野崎弘 様
坂田浩一 様
池谷正夫 様
池谷徳雄 様
脇素一郎 様
高谷光宏 様
青山道夫 様
杉原健 様
木谷駿二郎 様
木村則子 様
インフォコム株式会社 様
渡久地ツル子 様
汐崎浩正 様
関哲夫 様
堤勝代 様
山下由紀子 様
平井千恵子 様
秦芳彦 様
田中千秋 様
学校法人大勝院学園 様
小西暎也 様
澁谷洋志 様
山下照夫 様
小澤祐子 様
仙石哲朗 様
中井伸行 様
高見康雄 様
田中望 様
三井速雄 様
坂詰貴司 様
吉田靖 様
有限会社システム設計 様
松本雅彦 様
明珍素也 様

伊藤喜雄 様
井上雄吉 様
狩野祐光 様
大森雅子 様
鈴木宗鶴 様
折越卓哉 様
渡辺恭昌 様
平野京子 様
安田和正 様
細川要子 様
鈴木幸一 様
武藤剛志 様
秋元文子 様
土師三子 様
土塚達次 様
榎田良豊 様
株式会社インターネットメディア 様
鏡賢志 様
野口圭也 様
村木久晃 様
公和図書株式会社 様
高久真佑子 様
(株)小西美術工芸社 様
小川春夫 様
平山利恵 様
陶山哲夫 様
井出雪絵 様
佐藤禎一 様
岡本博司 様
岡本恭子 様
谷川紀彦 様
山口隆司 様
原一之 様
会田健一 様
(ほか62名3社、順不同)

◆10月3日(土)は留学生の日

留学生をご招待!

東京国立博物館では年に1度、留学生の日を定め、日本で学ぶ留学生の皆さんをご招待しています。留学生を対象とした講座や英語でのガイド、そして日本庭園を見ながらのお茶会もあります。特別企画満載の東博で一日日本文化体験をしてみませんか?

10月3日(土) 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

平常展(本館、表慶館、平成館1階、法隆寺宝物館)の観覧が無料となります。入館の際に学生証をご提示ください。

対象:日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者

イベントスケジュール

10:00～10:20 博物館紹介「東京国立博物館へようこそ」本館1階20室 東博の紹介や本日の見どころについてお話しします。

11:00～12:30 英語ガイド「日本美術の流れ」本館2階 留学生に知ってもらいたい作品を英語で紹介します。

11:30～12:30 お茶会1 庭園内応挙館 先着30名、11:00から庭園入口で整理券を配布します。

12:00～12:20 博物館紹介「東京国立博物館へようこそ」本館1階20室 東博の紹介や本日の見どころについてお話しします。

12:30～13:30 お茶会2 庭園内応挙館 先着30名、12:00から庭園入口で整理券を配布します。

13:30～15:00 講演会「留学生・日本語教師・通訳の方のための「美術作品を通して知るにっぽん」平成館大講堂 講師 小林牧(当館広報室長) 当日見られる作品を題材に日本文化の特徴をお話しします。

14:00～15:30 英語ガイド「日本美術の流れ」本館2階 留学生に知ってもらいたい作品を英語で紹介します。

15:30～16:30 お茶会3 庭園内応挙館 先着30名、15:00から庭園入口で整理券を配布します。

◆2010年 東博カレンダー プレゼント

一年を通して美しい美術作品をお楽しみいただける東京国立博物館のオリジナルカレンダーを、抽選で10名の方にプレゼントします。 締切11月20日(金)必着

※プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号でいちばん面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9東京国立博物館

広報室「ニュース10・11月号」プレゼント係

東京国立博物館賛助会員 2009年8月20日現在

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉鎖しています。

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで(郵便振替でのお申し込み)

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

*振替手数料はお客様の負担となります

*ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号00140-1-668060

*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◆お問い合わせ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
*振替手数料はお客様のご負担となります

*次号より送付ご希望の場合、締切は11月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします *ご登録は<http://www.tnm.jp>から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30~17:00、2009年11月までの特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、10月~11月の特別展開催期間中の土・日・祝・休日、4月~9月の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)。

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日~1月1日)。11月2日(月)、16日(月)、24日(火)は開館

平常展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

* ()内は20名以上の団体料金

* 障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

* 満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

* 11月12日(木)は無料観覧日です

* お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします



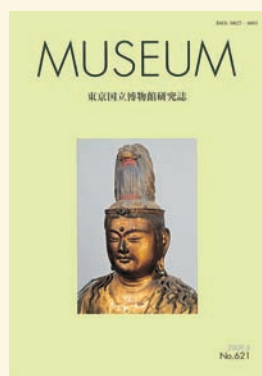
1 永徳、若冲から大観、松園まで
2009年10月6日(火)~11月3日(火・祝)
2 正倉院宝物と書・絵巻の名品
2009年11月12日(木)~11月29日(日)
11月12日(木)は無料観覧日になります
東京国立博物館 平成館

◆無料観覧日のお知らせ
天皇陛下御即位20年を記念して、11月12日(木)は無料観覧日になります。平常展、開催中の御即位20年記念特別展「皇室の名宝―日本美の華―」も無料でご覧いただけます。ただし、来場者多数の場合ご覧いただけません。

◆資料館
所蔵資料紹介コーナーの開設
資料館には、明治5年の博物館の創設以来、収集、蓄積してきた貴重な資料が数多く所蔵されています。2009年7月より1階閲覧室に資料展示コーナーを設け、資料館の所蔵資料について種類別にとりあげて紹介をしています。

◆TNM&TOPPANミュージアム
シアター上映作品のお知らせ
VR作品「国宝 聖徳太子絵伝」
10月2日(金)~11月1日(日)の金・土・日・祝日、振替休日
法隆寺宝物館で展示されている(10月6日~11月1日)「国宝」聖徳太子絵伝を、元來収蔵されていた奈良・法隆寺の東院伽藍の絵殿にVRで戻し、当時の姿を鑑賞します。

◆MUSEUM 621号
(8月15日発行)の掲載論文
「光得寺大日如来坐像のX線コンピュータ断層撮影(CT)調査報告」丸山士郎(当館情報管理室長)・神庭信幸(当館保存修復課長)・浅見龍介(当館教育普及室長)・今津節生(九州国立博物館環境保全主任研究員)・鳥越俊行(九州国立博物館環境保全室主任研究員)
〈館史研究3〉「扇面法華経冊子模本―岡倉天心・小堀鞆音と帝國博物館の模写事業―」恵美千鶴子(当館情報管理室アシエイトフエロー)



◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉
特別展覧会「立正安国論」
奏進750年記念「日蓮と法華の名宝―華ひらく京都町衆文化―」
10月10日(土)~11月23日(月・祝)

〈奈良国立博物館〉
御即位20年記念「第61回 正倉院展」
10月24日(土)~11月12日(木)

〈九州国立博物館〉
九州国立博物館開館4周年記念特別展「古代九州の国宝」
10月20日(火)~11月29日(日)

1 THU	📺	
2 FRI	📺 15:00	
3 SAT	📺 15:00 📺 13:30 📺 11:00	留学生の日 講演会、博物館紹介、英語ガイド、お茶会*1
4 SUN	📺 14:00 📺 14:30	
5 MON		休館日
6 TUE	📺 15:00	列品解説「観楓図屏風」14:00 本館2室
7 WED		
8 THU	📺 14:00 📺 14:00 📺 14:30	
9 FRI		夜間開館(20:00まで) 列品解説「中国考古 玉器鑑賞入門」18:30 本館20室 📺 14:30
10 SAT	📺 13:30 📺 14:00 📺 14:30	時間延長(18:00まで) 記念講演会「皇室コレクション、平成の歩み—修理調査報告を中心として—」13:30 平成館大講堂*2 📺 14:00 📺 14:30
11 SUN	📺 14:30	時間延長(18:00まで) 📺 14:30
12 MON		時間延長(18:00まで)
13 TUE		休館日
14 WED	📺 14:00 📺 14:30 📺 14:30	
15 THU	📺 14:00 📺 14:30	
16 FRI	📺 15:00	夜間開館(20:00まで)
17 SAT	📺 11:00*3 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00	時間延長(18:00まで)
18 SUN	📺 12:30,14:00 📺 14:00 📺 14:30	時間延長(18:00まで)
19 MON		休館日
20 TUE	📺 15:00	列品解説「狭衣物語絵巻断簡をみる」14:00 本館3室
21 WED		秋の庭園開放
22 THU	📺 14:00 📺 14:30	
23 FRI	📺 14:30	夜間開館(20:00まで)
24 SAT	📺 14:00 📺 14:30	時間延長(18:00まで)
25 SUN	📺 14:00 📺 14:00	時間延長(18:00まで)
26 MON		休館日
27 TUE		列品解説「横山大観入門」14:00 本館20室
28 WED	📺 14:00 📺 14:30	
29 THU	📺 14:00	
30 FRI		夜間開館(20:00まで)
31 SAT	📺 14:00	時間延長(18:00まで)

1 SUN	📺 13:30 📺 14:00 📺 14:30	時間延長(18:00まで)
2 MON		
3 TUE	📺 15:00	時間延長(18:00まで)
4 WED	📺	
5 THU	📺 14:00	
6 FRI	📺 15:00	
7 SAT	📺 11:30 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00	台東区教育委員会連携事業「前野まさるとゆく“東京国立博物館建物探訪”」10:00 本館*4 📺 11:30 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00
8 SUN	📺 14:30	
9 MON		休館日
10 TUE	📺 14:00	列品解説「平安時代の装飾経」14:00 本館20室
11 WED	📺 14:00 📺 14:30 📺 14:30	応挙館で美術体験
12 THU	📺 13:30 📺 14:00 📺 14:00*5 📺 14:30	天皇陛下御即位20年記念無料観覧日
13 FRI	📺 14:30	夜間開館(20:00まで)
14 SAT	📺 14:00 📺 14:30 📺 14:30	時間延長(18:00まで)
15 SUN	📺 13:30 📺 14:00 📺 14:30	時間延長(18:00まで) 記念講演会「正倉院の宝物 歴史の奥行き」13:30 平成館大講堂*2 📺 13:30 📺 14:00 📺 14:30
16 MON		
17 TUE	📺 15:00	列品解説「東京国立博物館所蔵の正倉院織物」14:00 本館特別2室
18 WED		
19 THU	📺 14:00 📺 14:30	
20 FRI	📺 13:30 📺 15:00	夜間開館(20:00まで) 大人向けワークショップ「貝合せを作ってみよう」17:30 平成館小講堂*6
21 SAT	📺 13:30 📺 11:00*3 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00	時間延長(18:00まで) 📺 月例講演会「皇室と東京帝室博物館」13:30 平成館大講堂*7 大人向けワークショップ「貝合せを作ってみよう」15:30 平成館小講堂*6 📺 11:00*3 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00
22 SUN	📺 12:30,14:00 📺 13:30 📺 14:00	時間延長(18:00まで) ファミリーワークショップ「貝合せを作って貝合せに挑戦!」13:00 平成館小講堂*8
23 MON	📺 14:00*5	時間延長(18:00まで) ファミリーワークショップ「貝合せを作って貝合せに挑戦!」13:00 平成館小講堂*8
24 TUE		列品解説「呉州赤絵」14:00 本館14室
25 WED	📺 14:00 📺 14:30	
26 THU	📺 14:00 📺 14:30	応挙館で美術体験
27 FRI	📺 13:30 📺 14:30	夜間開館(20:00まで)
28 SAT	📺 14:00 📺 14:30	時間延長(18:00まで)
29 SUN	📺 13:30 📺 14:00	時間延長(18:00まで)
30 MON		休館日

📺=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
 📺=ボランティアによる浮世絵展示ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 📺=ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所：本館1階エントランス
 📺=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 📺=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス
 📺=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
 📺=ボランティアによる表慶館アジアギャラリーガイド、集合場所：表慶館1階エントランス
 📺=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
 📺=ボランティアによる茶会、集合場所：本館1階エントランス(一般及び大学生は参加費500円、10月先着30名、11月先着20名、開始1時間前に集合場所で整理券配布)
 📺=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
 📺=ボランティアによるたてももの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス

📺=ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所：本館1階エントランス
 📺=ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(根付作りコース、事前予約制(抽選10名)、詳細は本誌13ページをご覧ください)
 📺=黒田記念館開館日、木曜・土曜13:00~16:00 *11/3~11/8は特別公開のため連日開館
 📺=ミュージアムシアター「国宝 聖徳太子絵伝」(10/2~11/1)、「国宝 金銅灌頂幡 飛鳥の天人」(11/3~12/27)上映 10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所：本館1階エントランス(詳細は本誌15ページをご覧ください)
 *1「留学生の日」関連事業、詳細は本誌14ページをご覧ください
 *2特別展「皇室の名宝—日本美の華」関連事業、事前申込制、詳細は2ページをご覧ください
 *3第三土曜日は手話通訳付です
 *4事前申込制、詳細は本誌12ページをご覧ください
 *511/12、23は応挙館は外観のみの見学となります
 *6事前申込制、詳細は本誌12ページをご覧ください
 *7特集陳列「皇室と東京帝室博物館」関連事業、詳細は本誌5ページをご覧ください
 *8事前申込制、詳細は本誌12ページをご覧ください
 *上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
 *屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。